

みずほCustomer Desk Report 2020/04/16号(As of 2020/04/15)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.18
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	107.13	1.0983	117.63	1.2623	0.6434
SYD-NY High	107.85	1.0994	117.75	1.2633	0.6444
SYD-NY Low	106.93	1.0857	116.78	1.2439	0.6285
NY 5:00 PM	107.43	1.0911	117.25	1.2510	0.6321
NY DOW	23,504.35	▲ 445.41	日本2年債	-0.160	1.00bp
NASDAQ	8,393.18	▲ 122.56	日本10年債	0.010	0.00bp
S&P	2,783.36	▲ 62.70	米国2年債	0.1999	▲ 1.92bp
日経平均	19,550.09	▲ 88.72	米国5年債	0.3377	▲ 8.26bp
TOPIX	1,434.07	0.56	米国10年債	0.6340	▲ 11.56bp
シゴ日経先物	19,405.00	▲ 220.00	独10年債	-0.4660	▲ 8.55bp
ロンドンFT	5,597.65	▲ 193.66	英10年債	0.2985	▲ 3.85bp
DAX	10,279.76	▲ 416.80	豪10年債	0.9380	0.40bp
ハンセン指数	24,145.34	▲ 290.06	USDJPY 1M Vol	8.66	▲ 0.64%
上海総合	2,811.17	▲ 16.11	USDJPY 3M Vol	8.68	▲ 0.25%
NY金	1,740.20	▲ 28.70	USDJPY 6M Vol	8.65	▲ 0.17%
WTI	19.87	▲ 0.24	USDJPY 1M 25RR	-2.85	Yen Call Over
CRB指数	123.63	▲ 2.38	EURJPY 3M Vol	9.78	▲ 0.01%
ドルインデックス	99.46	0.57	EURJPY 6M Vol	9.76	▲ 0.06%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月15日	09:30	豪 ウェストバック消費者信頼感指数	4月 75.6	-
	21:30	米 小売売上高(前月比)	3月 -8.7%	-8.0%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	4月 -78.2	-35.0

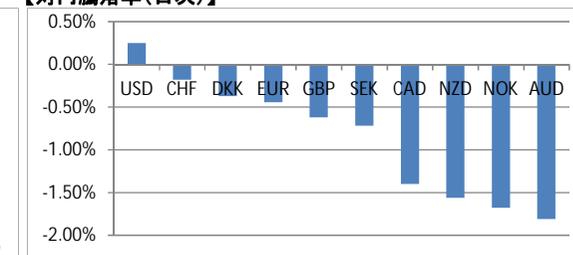
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月16日	10:30	豪 雇用者数変化	3月 -30.0k	26.7k
	10:30	豪 失業率	3月 5.4%	5.1%
	15:00	独 CPI(前月比/前年比)・確報	3月 0.1%/1.4%	0.1%/1.4%
	21:30	米 住宅着工件数(前月比)	3月 -18.7%	-1.5%
	21:30	米 住宅建設許可(前月比)	3月 -10.5%	-6.3%
	21:30	米 フィテリファイ連銀景況	4月 -32.0	-12.7
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 5500k	6606k
4月17日	00:00	米 ポスティック・アトランタ連銀総裁 講演	-	-
	03:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 株式市場は2番底をつけるか

新型コロナウイルスの感染拡大は欧米中心に鈍化してきたとは言え、依然感染者は増え続けており、株式市場等の楽観ムードは個人的には疑問である。トランプ大統領は近く経済活動の再開計画を発表するとしているが、たとえ経済活動を再開できたとしても、ワクチンができない限りは全く元通りにはならないはずであり、影響は長期化しそうだ。かかる中、米国では第一四半期の決算発表シーズンを迎えている。足下は金融機関中心に発表されており、来週・再来週に本格化する。既に発表されている金融機関の決算は貸倒引当金の繰入増加により大幅減益となっている。今後米金利低下による減収も見込まれるであろう。今後発表されるその他の業種についても新型コロナウイルスの影響は大きく出るはずであり、今後個別銘柄の選定が進みそうだ。足下、経済活動再開への期待感も出ており一時の下げからは戻している株式市場だが、来週からの決算を受けて改めて影響の大きさが意識される場合、株式市場が2番底をつける可能性は相応にあるのではないかと考える。FRBによる低金利政策等もしばらくは解除できないはずであり、ドル円はレンジを切り下げてもおかしくないと思う。(玉井)

東京	東京時間107.13レベルでスタートしたドル円は、寄り付き後に日経平均株価が下落する中、一時106.93を付けるが、日本株が一旦下げ止まったことで107円台を回復。その後はアジア株全般が軟調推移する一方、リスク回避的なドル買いが優勢だったことから、ドル円は107円台前半を中心に小動き。107.07レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.07レベルでオープン。昨日までのドル売りから反転、本日はドル買いとなり一時107.50まで上昇。ただ、原油需要の減少見通しのヘッドラインや米企業業績の切り下げ見通しなどでリスクオフの展開となる中ドル円の上値は限られ結局107.38レベルでNYに渡った。ポンドは、1.2591レベルでオープン。ドル売りの巻き戻しを受けポンドは逆に売られた。1.2490でNYに渡った。(ロンドンツールフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、「IEA(国際エネルギー機関)がOPECプラスの減産でも供給過剰が解消しない可能性を指摘」などのヘッドラインを受けて、WTI原油が2002年以降の安値をつける中、有事のドル買いが先行したことから107.50まで上昇し、107.38レベルでNYオープン。朝方発表の3月小売売上高が単月ベースで過去最大の減少幅を記録し、特に自動車や衣料品関連が大幅減少となった(一方、買い溜めを背景に飲食料品等が増加した)。また、同時発表の米4月NY連銀製造業景気指数も予想以上の落ち込みを見せる中、リスクオフのドル買いが強まり、一時107.85を付ける。その後発表された米3月鉱工業生産も予想下振れとなるが、低調な米経済指標が続き、ドルが安全資産として買われにくくなったためか、ドル買いが失速し、107.40近辺まで反落。午後は107円台半ばでもみ合い。14時公表のベージュブック(米地区連銀経済報告書)でウイルスの影響から直近数週間で経済活動が急激に縮小したことが指摘されるも、目新しい情報が見当たらず、市場の反応は限定的だった。安値の107.26まで下落する場面もあったが、終盤にかけてドル買いが強まり、107.43レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは、原油価格の下落を背景にリスクオンが悪化する中、ドル買い優勢となり、1.0904まで下落し、1.0915レベルでNYオープン。朝方は海外時間の流れを引き継ぎ、一時1.0900を割り込み、1.0857まで下落。その後、軒並み低調な米経済指標や原油価格の下げ止まりを受け、ドルの戻り売りに1.0938まで反発。終盤にかけてドルが買い戻され、結局、1.0911レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 玉井・谷舗 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

■今週のドル/円 見直し

田中	竹内	筒井	加藤	関	光石	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	フル	ベア	ベア	フル	ベア	ベア	フル	ベア
岡本	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	谷舗
フル	フル	ベア	ベア	フル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

フル	ベア
6	14